

令和6年度学校評価報告書

令和7年(2025年)3月25日

北海道豊富高等学校長

1 本年度の重点目標

- (1) 教員、生徒双方で授業改善に取り組み、主体的・対話的で深い学びへ向かう。
- (2) 自律心・自己有用感を高め、自ら進んで未来を切り開く力を育てる。
- (3) 心身ともに健やかな成長を促し、自他の生命尊重の態度を育てる。
- (4) 「北海道アクション・プラン」を踏まえて、職場環境や働き方の工夫・改善を進める。
- (5) 「部活動に係る活動方針」を踏まえ、適切な部活動指導・運営を図る。
- (6) 異校種や地域の教育力を生かし、スクールミッションの具現化を目指す。
- (7) 異文化理解や多様な価値観に触れる機会をとおして、グローバルな感覚を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	基礎・基本の定着に向けてを図りながら、個に応じた指導や主体的・協働的で深い学びにつながる授業改善(ICT活用・観点別評価・探究活動等)について継続した校内研修が必要である。	生徒の基礎的・基本的学習内容の定着に向けた取組や遠隔授業、教員の授業改善、探究活動の取組については一定の評価をいただいているが、地域とより連携した学習環境の構築や異校種連携を充実していく必要がある。
改善方策	ICTの効果的な活用に向けた校内研修や授業改善、学習意欲に繋がる観点別評価の取組を実践していく。	継続してICTの効果的な活用や探究授業において地域資源の活用の充実、異校種における相互交流を深め、研鑽に努める。
生徒指導	生徒理解や教育相談の評価が高く、スクールカウンセラー活用や保護者や地域との連携も充実している。組織的な連携をとおして、生徒に対する支援をより充実させることができた。	生徒理解、学校安全、教育相談、いじめ防止について一定の評価をいただいているが、生徒会活動や部活動、地域活動に関わる体験的学習活動や行事等の充実について課題がある。
改善方策	継続的な支援をスクールカウンセラーや生徒支援委員会、いじめ防止対策委員会、保健室、'学年と連携していく。	学校、保護者、地域の共有理解のもとで、様々な活動の活性化を図り、生徒の成長につながるように工夫・改善を行う。
進路指導	生徒個々に応じた進路支援・個別指導を行い成果をあげることができた。今後、進路行事への積極的な参加や探究活動の充実を図り、より幅広い進路希望への対応を検討する。	進路指導や進路実現について評価をいただいているが、教科指導力の向上、上級学校への指導体制、キャリア教育と探究活動の充実に向けた工夫・改善が求められる。
改善方策	さらなる進路情報の発信や共有、深化した進路相談の充実を図り、地域と連携した活動をもとに勤労観、職業観を育成する。	進路情報発信の工夫や、積極的な進路行事への参加、地域を活用した効果的なキャリア教育をとおして、より一層生徒個々に応じた進路支援の充実に取り組む。